

いっしょにあそぼ！IN 河津



入り口は入りたくなるような明るい雰囲気で、各事業所の様子をスライドで紹介



各事業所の紹介・全国の家庭的保育の事業所の様子も掲示させてもらいました

NPO 事務局からもお手伝いに理事長の水嶋理事長他4名、横須賀市からイベントの見学にいらした家庭的保育者の3名の方に、遊びの援助や、イベントの見学に来られた町議、県議の方々に家庭的保育についての説明などをいただきました。

今回のイベントでは、0歳児2名、1歳児8名、2歳児5名、3歳児以上14名の子どもの参加があり、河津町では22組、近隣市町は4組。その他、当日トライアスロンの大会に参加している家族の参加もあり、他の県から3組とたくさんの親子の参加がありました。



1番人気レストラン

次に人気のあった積木のコーナーでは和久洋三先生の考案した積木や、木のおもちゃなどを親子で一緒に作って遊んだり、触れてみたり、形のパズルなどを組み合わせたり、自由に遊びました。子どもよりも積木を高く積み上げることを楽しんでいるお父さんもいて、子どもたちがお父さんの応援をして、とても盛り上がりました。大人も童心にかえる遊び場となりました。

■日時 令和7年10月26日(日)<9時50分～11時50分>
■場所 河津町地域子育て支援センター「かわづっこひろば」
■目的 家庭的保育とは、どのような保育なのかということを、たくさんの方に知っていただきたいことと、0, 1, 2歳児の子どもたちが楽しく遊べる手作りおもちゃの紹介や、親子で遊べる場所の提供も兼ねてのイベントを行いました。

河津町は、子どもの減少が著しく、保育園と幼稚園が来年度からは子ども園となることが決まっています。未就園児の保育体制も変化していく中で、家庭的保育としては、河津町でどのような立場で、保育を行い、子どもたちを預かっていくことが出来るのか、常に3事業所の家庭的保育者が話し合ってきました。町の転機に、家庭的保育の良さを町の皆さんに、そして、近隣の市町の方にも知っていただき(家庭的保育を始めたいという下田市の方も参加)きめ細やかな保育や、保護者とのつながり、卒室した子どもの成長を見守り続け、成長を見届けていける様子をぜひ見ていただきたいと思いました。(今回イベントスタッフとして、卒室した子どもたちや、保護者も協力してくださいました。)



卒室した小学生がイベントのお手伝いに！

アンケートの結果、楽しかったコーナーは「お料理ごっこ」が一番人気でした。小学生がお店屋さんを担当し、そこに親子で来て、お料理を選びもらいます。トングが使える子は、自分でお皿に盛りつける遊びもでき、とても楽しかったようです。お兄さんお姉さんとのふれあいもまた、小さなお子さんをもつ保護者の方にとっては、普段見ることのない、異年齢が関わる姿を見ることが出来たのではないかと思います。



次に人気があった積み木のコーナー



ペットボトル・ラップの芯・箱など利用

その他「ポットンおとし」のコーナーは、1,2歳児が繰り返し遊ぶ様子を保護者の方がじっと見守る姿がありました。遊びに来てから30分以上も離れず繰り返し遊ぶ様子に、保護者の方も驚かれていました。単純な遊びですが、指先を使い、穴のなかに入れていく遊びは、集中力がなければ出来ません。しかし、まだ指の力がなく、器用さもままならない子どもが夢中になる魅力があるからこそこの遊びです。身近にあるもので、手作りができるおもちゃの紹介にもなりました。



おばけが出てくるかな?吹く力も必要です



手作りの安心トンネル

トンネルくぐりのトンネルは、箱に穴をあけ、その穴の中に100均で売っているポールを差しこんで作りました。このトンネルは、隙間が空いているので、暗くありません。トンネルくぐりを怖がるお子さんもよくいますが、これなら安心です。入り口を決めて、足形を置いておくと、そこから入るようになります。繰り返し遊ぶ遊びですが、ルールを決めておくことで、スムーズに遊びが進んでいきます。子どもたちは目に見えてわかることで安心します。ある程度決まっていることを繰り返すことが面白いので、このような単純な目に見える約束事も役に立ちます。



どのコーナーも賑わっていました

2時間という短い時間でしたが、たくさんの方が遊びに来てください、とても賑やかで、楽しい時間となりました。各コーナーとも担当の家庭的保育に携わっている方や町のボランティア活動をされている方なので、みなさん、声掛けがとても上手で、来てくださった方が、笑顔で子どもと一緒に遊びが楽しめたかと思います。子どもも親もスタッフもみんな『いっしょにあそぼ』でした。最後に手遊びと、プレボーや歌を歌ったりしながら盛り上がり、イベントを締めくくることが出来ました。今回のイベントにご参加いただいた皆様に感謝いたします。



プレボーを見ている時の様子



イベントスタッフ皆さんと